

# 中学校理科教科書における用語検討の取り組み

今吉拓哉（東京書籍株式会社）

**要約：**理科教科書内での用語の問題は、高校理科だけではなく、中学校理科教科書においても課題となっていた。そこで、中学校理科教科書発行5社の編集担当者が平成24年度教科書から改訂の度に集まり、情報交換会を行ってきた。他社の教科書の状況を踏まえながら検討を行った結果、完全ではないが、平成24年度以前の教科書から、使用する用語についての一定の改善が見られるようになっている。

## 1. はじめに

中学校理科教科書における用語検討のきっかけは、中学校理科教科書に使われている用語が会社によって違っているのはなぜかという問い合わせで困っているの、何とかできないかという、当時、啓林館中学校理科担当だった大梅氏からの問題提起だった。そこで、まず教科書協会から指示してもらえないか打診した。しかし、その返事は、教科書会社間で自主的にやってほしいということであった。そのため、全5社の編集部へ連絡を取り、用語検討会として実施することとした。

その際、スタンスとしては、強い拘束力を持って用語の統一を図るのではなく、用語が統一されていないことに対する共通認識をもち、各社で変更可能な箇所があれば、対応するという、かなり緩やかなものであった。また、この用語検討会は、そうしたスタンスを維持するため、あくまで編集担当者だけに止めることとした。

## 2. 中学校理科教科書用語検討会の内容

これまで、用語検討会は、下記のように計3回実施している。

第1回 2008年10月27日

⇒平成24年度教科書に向けて  
14用語統一

第2回 2012年10月26日

⇒平成28年度教科書に向けて  
17用語統一

第3回 2018年1月24日

⇒令和3年度教科書発行に向けて  
それぞれ、その時点で会社によって違いが生じている用語を抜き出し、作成した一覧表を事

前に共有した。用語検討会までに違いのある用語については、その背景を調べておき、用語検討会において情報交換するようにした。下表は、第3回の検討資料の一部で、第2回検討会からの変化についてまとめたものである。

学年	領域	A	B	C
1年	物理	摩擦力	摩擦力	摩擦力
1年	物理	ばねばかり(H24)	ばねばかり(H24)	ばねばかり(H24)
1年	化学	粒子モデル →粒子のモデル(H28)	粒子のモデル	粒子モデル →粒子のモデル(H28)
1年	化学	二酸化マンガ	二酸化マンガ	二酸化マンガ
1年	化学	水上置換法 上方置換法 下方置換法	水上置換 上方置換 下方置換 →水上置換法 上方置換法 下方置換法(H28)	水上置換法 上方置換法 下方置換法
1年	化学	純粋な物質	純粋な物質 →純粋な物質(純物質)(H28)	純粋な物質
1年	化学	上皿てんびんの 調節ねじ→調節ねじ(H28)	上皿てんびんの 調節ねじ	上皿てんびんの 調節ねじ

## 3. 成果と課題

合計3回の検討を経て、確実に用語の不一致は減っており、一定の成果を上げているといつてよい。特に、これまで議論になることの多かった用語はかなり統一されてきており、用語の違いに関する問い合わせは減ってきている。しかし、完全に統一されていないことも事実であり、今後も引き続き検討していく必要がある。

ただし、現在検定申請している教科書については、編集前に用語検討会を実施していない。理由としてはいろいろと考えられるが、当初検討会を始めた頃から編集担当者が変わってきていることや用語の統一が進んできたことによる部分は大きいと考えている。今後、現状を把握すべく情報交換だけでも実施していく必要はあるだろう。

高校理科の化学や生物の用語については、各学会、学術会議などの積極的な動きがあり、教科書での用語の統一の流れができていく。地学については、関係する学会も多く、取りまとめには困難も予想されるが、同様の流れでの用語の統一を進める必要があると考えられるがどうだろうか。

今吉拓哉（東京書籍株式会社）

imayoshi[at]tokyo-shoseki.co.jp